



新しく開設されたサポートキッズにて

誰もが幸せになるために

— 児童発達支援事業 サポートキッズの開設にあたり —



大阪YMCA
 発達支援事業責任者
 高校生事業グループ責任者
 特別支援教育士
 かじた ちふみ
 鍛治田 千文

「『〇〇ちゃん、来た〜』って保育園で言われるんです」と面談中の2歳児の子どもをもつ若いお母さんの言葉。こんな時からすでにそれは始まっているんだ、と胸がギュッと痛みます。「人と違う」ことがこんなに小さい時から、受け入れてもらえない現実と直面します。この言葉が、「(ちょっと変わっていて面白い)〇〇ちゃん、来た〜」になったらどんなに素敵でしょうか。障がいのある青少年たちと多く出会った経験から、この子とご家族が歩むこれからの道が想像できます。明るく伸び伸びと育つ子、嫌な体験がたくさん重なって二次障がいまでも起こす子、どうか目の前の子どもとご家族が良い出会いを積み重ねられ、幸せになってほしいと祈るばかりです。そして、その良き出会いの一つにYMCAのサポートキッズがなれるよう、私たちは全身全霊をかけて関わっていきます。

20年前の1996年、当時大阪教育大学教授竹田契一先生(現在同大学名誉教授)の指導のもとではじめた発達障がい児の療育プログラム「サポートクラス」。まだ日本では学習障がいや発達障がいという言葉もほとんど知られていない時代でした。専門性の高いYMCAのプログラムは、障がい児教育の世界で高く評価され、YMCA内で新しいプログラムの展開や発達相談・カウンセリングの総合教育センター創設と広がっていきました。そこで安心できる関係性と環境があれば、子どもたちが大きく変わるということを私たちは感動を伴いながら実感してきました。子どもの成長には個人へのサポートだけではなく、その「場」が持つ力が大きく作用

します。その奇跡のような瞬間に立ち会った私たちも、人として大きく育てられました。

私たちは、一人ひとりが違っていい。違ったままで、すべての人々が共に生きる—それは神様から教えられたことで、そして神様が願っている世界に一步近づいたことを感じた瞬間でもありました。日常的に誰にでも、どこであろうともその「場」が繰り上げられることが私たちの一番の願いです。

今、どの子どもたちにとっても生きにくい社会です。でも、子どもも大人も幸せになるために生まれてきました。障がいがあるとなかろうと、それは同じです。定型発達(健常)と障がいは、スペクトラム(連続体)です。ここから障がいと、きれいに線引きされるわけではありません。誰にでも発達にでばこがあり、それが特性と認められる社会にしていくことが、私たちの役割だと考えています。道路が全部きれいに舗装されたら車いすでもスムーズに動け、それが障がいではなく特性になるように。

「普通」という言葉は、ともしれば脅しになります。人と一緒のことができる「普通」を目指すことの縛りから解放され、誰もが自分らしく生きることが出来る温かい社会を目指して、私たちはサポートキッズの開設を決めました。一人ひとりの子どもたちの幸せが家族の幸せにつながり、その子どもたちが肯定感をもつ大人に育っていけば、社会は確実に変わります。一人ひとりが大切な存在として認められ、共に生きる。それがYMCAの求めている世界です。

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をなくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
 TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297
 大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧いただけます。
 URL: <http://www.wosakaymca.or.jp/>



No.689

2016
5月号

大阪YMCA サポートキッズ 開設!



2016年4月より、南YMCA(天王寺)にて未就学児(2歳以上)を対象にした児童発達支援事業「サポートキッズ」を開設しました。サポートクラスをはじめ、これまで長く発達障がい児の療育を行ってききましたが、そこで培ってきたノウハウを活かして未就学児の成長をサポートしてまいります。また、サポートキッズではボランティアも一緒に活動いたします。将来、福祉の分野や特別支援教育に関わりたいという、子どもが大好きなボランティアリーダーたちが既に登録しています。子どもと共に「未来の指導者」のために、リーダーたちの成長も支援していきます。

●一人ひとりが愛され育つことを願って

乳幼児期は心身の発達が人生の中で最も著しい時であり、子どもを見守る大人や子どもを取り巻く環境が、その後の人生に大きな影響を与えます。

子どもたち一人ひとりの感じ方はさまざまで、他の人が心地よいと感じる空間であっても、何らかの刺激を嫌と感じ、居心地が良いと感じられないことや、周囲の人が愛をもって関わっていても愛されていると感じられないこともあるのかもしれない。

今という一瞬は、子どもにとって繰り返されることのない、かけがえないものです。今しかできないことを喜びと充実感をもって過ごす毎日が、乳幼児期の発達に必要な積み重ねだと考えています。

サポートキッズは一人ひとりに合った学び方ができるように、また子どもたちが自分自身を大切な「ひとり」として受け入れられていることが伝わるように、その子にあった伝え方で伝えることで、子どもたちが居場所

児童発達支援管理責任者 保育士 まつさか かえ 松坂 佳江

と感じ、また、居場所があることで自分自身を喜びと感謝をもって受け入れられるようになることを目指します。「自分を好きな気持ち、人が好きな気持ち」から、意欲がいっぱいになれば、人と関わりたいと思う原動力になります。人と関わる中で失敗するかもしれませんが、それを支えるのもサポートキッズの場であり、そこに携わる私たちでありたいと思います。ここでの経験が家庭・保育園・幼稚園で広がって欲しいと思います。

わたなべかずこ 渡辺和子さん(ノートルダム清心学園理事長・カトリック修道女)は著書の中で、『人間 この未知なるもの』の著者、アレキシス・カレル博士に触れ、「人間」というものを知り愛していかなければならない」と述べています。*1 私たちは一人ひとり未知なる人との出会いを大切に、子どもたちが「自分のことを」教えてあげよう。と自然と心を開くことができるように愛し向き合い、子どもたちを支えています。

*1 渡辺和子著『スマイルのように踏まれて香る』

●好き・楽しいを皆で力に

ピョンピョンとトランポリンで満面の笑みを浮かべて跳んでいる3歳の男の子。「あっ。」手に持っていたおもちゃが落ち、慌てて取りに行った後は、しっかり握って跳び続けます。身体のバランスを取りながら、大切なおもちゃを落とさないよう意識し続ける…ワーキングメモリー(WM:複数のことを同時に行う・記憶する力)アップの瞬間です。サポートキッズではこのWMアップに力を入れています。

サポートキッズでは、少人数で安心でき、必要な刺激がちょうど良いペースで出てくる環境を提供しています。そのため、子どもたちは活動を楽しみながら自ら学び、「訓練」と思わないで足腰や記憶力を鍛えています。そして、それが言葉や学習、社会性の向上へとつながります。やってみると面白くて「好き」になる。そんな経験をたくさん積み重ねる中で、初めてのことやちょっと難しいと思ったことにも挑戦できる

●それぞれのペースを大切に

「落ち着きがないんです」「発語が遅くて…」さまざまな悩みを保護者から聞きました。これらに直接的な療育を行うのではなく、その子の根本にどのような課題があるのかを探ります。落ち着きがない子に椅子に座る練習をしたり、発語が遅い子にことばを読み書きする練習をしても身につけません。落ち着くためには、自分で心と身体をコントロールすることや全身の筋力の調整が必要です。それならば、思いきり身体を動かす、脱力する、調整するといった運動あそびで、身体のバランスやコントロールが整い、椅子に座れるようになります。また身体を動かすことは、こころやからだの育ち、学習基礎などにも大きく影響します。

サポートキッズは幼児を対象としています。その年齢の療育は大きな成果があるからです。小学校では、幼稚園、保育園に比べて自分で

特別支援教育士スーパーバイザー にった のぶこ 新田 展子

ようになっていくものです。達成感や満足感を得て、自信をつけていきます。

こういう環境が我が子にとって必要だと分かっても、これまでは民間が行う活動のため、参加費が負担で通わせられなかった保護者の方もおられます。今回は行政の指定事業として、社会全体で支えあっていけることに感謝しています。サポートキッズでは、子どもたちの笑顔や保護者の皆さまからのコメントに担当者たちも癒され励まされ、挑戦する勇気をもらっています。今後も、お互いに認め合い、だれもがしあわせを感じられる社会の一端を担っていきたく願っています。

保育士 ほり まゆみ 堀 真由美

することやお友だちとの関わりなどが増えます。着替えなどの生活動作、お友だちとあそびのルールや先生の話や聞くことなど、あそびを通して身につけることで、子どもも保護者も安心して自信をもって過ごせるようになります。

私自身、大学時代(福祉専攻)に学んだこと、また、当時行っていたヘルパーや児童デイサービス(現児童発達支援事業)、入職後のウエルネス事業での経験を活かすと共に、保育士、特別支援教育士スーパーバイザー等専門性の高いスタッフ、ボランティアリーダー、法人を超えたYMCAの総合力を合わせ、子どもたちを支援していきます。

全員が同じスピードで成長するわけではありません。一人ひとりのペースでいいのです。私たちはそのペース、育ちを全力でサポートします。



赤ちゃんが教えてくれるもの

大阪YMCA国際専門学校 表現・コミュニケーション学科 さいとう いくえ 齋藤 郁恵

表現・コミュニケーション学科(以下、表コミ)では、3年間を通して段階的な性教育を行なっています。その中で年に一度、現在育児中のママと成長中の赤ちゃんを講師として迎え、赤ちゃんとのふれあいを通して生命の尊さを肌で感じてもらうため、「赤ちゃん先生」というプログラムを行なっています。



2015年度の1年生は「生命の大切さ」をテーマに、赤ちゃんとのふれあいのほか、ママ講師の方々から、出産に際しての思いや日々の育児、赤ちゃんの名前について話していただきました。2年生は「子育てへの決意と親への感謝」をテーマに、ママの仕事について学びました。ママの1日のスケジュールを聞いたり、赤ちゃんを抱いたままカゴを持つ等の育児体験を通して、24時間体制で赤ちゃんのお世話をすることの大変さを体験しました。3年生は「子育ての大変さと喜び」をテーマに、育児体験

を行ったほか、夫と子育ての関わりについて話しました。どの学年も、ママたちの赤ちゃんへの温かい思いに触れることを通して、自分の存在の尊さに気づく時間となりました。そして改めて、自分を育ててくれた親の愛情に気づき、感謝の気持ちをもつことができました。

また、表コミの生徒以外の中高生・大学生を対象に、「いのちのキセキ」と題して公開講座を開きました。赤ちゃんが生まれたときの気持ち、子育てをしていて嬉しかったことや大変だったこと、親になって初めて気づいたことなどについて伺い、子どもは親にとって、なにものにもかえがたい、生きているだけで十分な存在なのだというメッセージをいただきました。



現在、神様から与えられた大切な生命を、様々な理由や葛藤の中で、自ら絶ってしまう人が多くいます。しかし、その人がいるだけで救われている人がいることを心に留めて、日々を大切に生きていってほしいと思います。

UNI-Yシンガポール研修報告

UNI-Yメンバー、YMCA学院高校卒業生 まつおか なおこ 松岡 直子



Global Youth Conference (GYC) 2015においてのシティサミット(ワークショップ、ディスカッション、サミット会議)を受け、世界のユースと語り合った課題について、大阪のUNI-Yとして何が出来るのか、それを探るために、2016年3月、長く活発に活動しているシンガポールのUNI-Yを訪問しました。NUS(シンガポール国立大学)、NTU(南洋理工大学)、SMU(シンガポールマネージメント大学)を実際に訪問し、メンバーからシンガポールUNI-Yの活動について聞くことができました。様々なプログラムの中で、誰が対象なのか、またその資金はどこからなのか、大学生でもできること、大学生だからこそできることなど、質疑応答を通して深く学ぶことができました。

私たちからは、7月に行われるGYC2016の案内と、折り紙、お土産として日本のお菓子などをプレゼントしました。また、研修の中で出会ったUNI-Yのメンバーと一緒に観光できたため、とても良い交わりの時間となりました。

GYCで各国のUNI-Yのメンバーが日本に来てくれたり、日本のUNI-Yが訪問したり、このような繋がりを通して若者が団結し、大きな力になることを願っています。研修をきっかけにシンガポールUNI-Yの活動を、日本での状況に合わせる形で大阪YMCAのUNI-Yにも取り入れていきたいです。

☆Global Youth Conference 2016☆

日程：2016年7月7日(木)～7月11日(月)
場所：六甲山YMCA グローバルラーニングセンター
お問合せ：大阪YMCAグローバル事業推進室
TEL:06-6441-5088 FAX:06-6443-2069

変わらない発刊の思い ～大阪青年創刊100年～

大阪青年の創刊から2016年5月で満100年を迎えます。

第1号である1916年(大正5年)5月号には、大阪青年の発行の目的について、当時の総事であった佐島啓助氏が執筆されています。その中で、佐島氏は、米国YMCAの評価基準に触れ、YMCA事業の成果は、どれほど多くの人が共同しているかによって測られると述べています。

実際青年会の内容と実力とを測量する標準は、幾何に多くの会員が役員、職員と共に協同活動しつつあるやにより定められると、米国の青年会の専門家は話して居る。

また、どのように共同していくべきかを知るために会員と意思疎通する必要があり、会員に事業について理解していただくことや、会員の方々の考えや思いがどうであるかが重要であり、それを知るために大阪青年を発行すると記しています。

…故に会員と意思を疎通すべき機関の必要に迫って居た、今後毎月一回月報を発行して本会の事業につきて諸君に報知すると共に諸君の趣味と使命の何邊にあるかを我等が知る事を得て、此に協同すべき情緒を得る所あるべしと信ずる、

大変興味深いのは、聖書にある逸話を例に、最も大切なことは関わる会員一人ひとりと事業運営を共にすることであることを強調していることです。当時から、今で言えば、委員やYアクターなどボランティアの人々が運営に関わっていたことが分かります。

…聖書の約翰伝第一章に、「イエス彼らの従えるを回顧て爾曹なにを求めよと彼等に問きたへてラビ何処に住るやと曰、イエス彼等に来り觀よと曰たまひければ、遂に往て其住り給ふ処を見て其日ともに往れり。」とあるが此内に会員が我等職員と協力する主義と方針を包含すると信ずる、…(中略)…青年会館に來り現状を觀て如何なる処に欠点特徴あるやを觀察して、暫くの間にも協同事を為す時は、本会に取りて尤も背棄に當るものを教示出来ると思ふ、之我等当事者の希望に堪えざる所である。

当時の役員、職員との共同・協力とは、今で言えば、職員とYボランティアの協働ということ。100年の間に大きく社会の状況は変化し、また諸制度変革はありましたが、その中でもYMCA創設の精神、大阪青年発刊の思いは、当時と変わらず、会員一人ひとりと共に歩みながら、社会のために希望に向かって奉仕しようとする姿勢に受け継がれていると言えるでしょう。

元来青年会は一の有機体にして之に属する会員は皆各種各様の任務を有するもので、自己の利益を得るのみならず進んで他の会員は勿論会員外の社会一般にも奉仕貢献する事にて自己の爲めにならぬものは絶対に無いと信ずる…

会員の皆様と共に歩みながら、すべての人が希望を持って共に生きる社会をつくるために、大阪青年がさらに良き媒体として成長していくことを願っています。(大阪青年編集室)

*引用部分については、原文は旧漢字、旧仮名遣いですが、読みやすくなるため新漢字、現代仮名遣いにして表記しています。また、句読点はそのままだと記しています。*抜粋複製号を付録しています。

つながり広がる“Yの世界”

YMCAの輪

まきぐちのぞむ
大阪YMCA早天祈祷会世話人会 牧口 望

「尾崎さん(故人)、ボクが弾きます。ただし、讚美歌の指定は受けつけません。」

「まあええワ。弾く人が無いよって、牧口くん、やってくれるか。」
こうして「早天祈祷会常任奏楽者?牧口望」は誕生した。♪慈しみ深き、友なるイエスは・・・「こんな弾けたらええなあ」と思っていた讚美歌312番に挑戦!読譜できない私は、毎日練習。暗譜して礼拝に臨んだ。1994年7月の話だ。月に一度の早天祈祷会。YMCAに関わる方々の話を聞き、心静かに祈る、結構“ええもん”です。5年後、早天祈祷会で出会いがあり、50歳にしてピアノレッスンを受けることになった。

YMCA活動は、人と人が互いに成長し合える「場」であるはずだ。「人と人との間に花を咲かせたい。」こんな気持ちで行動すれば、「YMCAの輪」は広がってゆくだろう。

「希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします」大阪YMCAの素晴らしい理念。職員はもとより、関係者は今一度、この理念を噛みしめて欲しい。「希望」が持てれば、人は生きていくことができるのだから・・・。



大阪YMCA新スタッフ 入 職 式



4月1日、大阪YMCAにて2016年度入職式が行われました。多くの仲間を迎え、これからともに歩んでいきます。

大阪YMCA創立記念礼拝・Yボランティア(会員)懇談会 開催のお知らせ

第1部 創立記念礼拝

【日時】 2016年6月4日(土) 10:00~10:45

【場所】 大阪YMCA会館 10階チャペル

【奨励】 おかわら ひさし 岡村 恒 牧師 (日本基督教団 大阪教会)

第2部 Yボランティア(会員)懇談会

【日時】 2016年6月4日(土) 10:45~12:00

【場所】 大阪YMCA会館 9階 903号室

【内容】 活動報告 他

大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第277回 日 時…2016年5月20日(金)7:30~8:30

証 し…かわぐち あきのり川口 彰範さん
(YMCA学院高等学校 スタッフ)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

【問合せ】 大阪YMCA 本部事務局 総務

【TEL】06(6441)0894 【E-mail】info@osakaymca.org

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2016年3月度報告・敬称略

【新規会員】

梅村 惇貴
軽澤 似季
木綿 奈津子
河野 紋果
阪田 晃希
坂本 一真
清木 育
谷 優希
中筋 祐喜
野方 大輔
野口 嘉奈美
室谷 明日香
森 公輔
横田 京香

【継続会員】

有山 実希
飯沼 真
石津 雅人
井上 陽子
今村 一之
入江 保夫
岩井 錠治郎
岩坂 二規
岩田 晋
植下 五郎
宇野 義男
大野 慎太郎
大村 肇
大藪 芳教
小笠原 純
尾形 丈二
岡本 剛介
小川 健一郎

尾和 信孝
加計 純子
粕谷 和彦
加藤 寅尾
金岡 重雄
金田 恒
上山 拓也
川俣 茂
河本 康宏
北岡 昂
北村 知三
木内 柚花
金 利紗
小島 宏樹
小森 敬久
佐藤 祐規子
芝田 光雄
島田 恒
清水 誠治郎
清水 里沙
條 イサヨ
小路 修
城野 成美
杉本 恵俊
隅田 保
高田 一
滝口 敏行
竹花 マリ子
田土 美咲
田中 厚至
田中 八重子
谷川 寛
谷村 睦
千葉 佐保

津野 忠昭
津村 紀三代
永井 温子
中尾 茉莉彩
中川 侑紀
中芝 永次
中谷 哲造
中村 茂高
中村 隆幸
中村 実樹
錦織 一郎
西澤 颯
野崎 唯
野村 忠彦
長谷川 洋一
畠平 雅生
浜野 慎也
濱野 菜奈
林 慶太
林 純三
早田 充哉
東 良學
福永 嘉彦
藤井 大祐
藤井 英世
藤原 正巳
古田 敏洋
何 早林
前田 貴史
前出 孝子
牧口 望
松浦 孝次
松岡 虔一
松下 広子

松田 明久
松原 伸幸
松山 隆義
三浦 明
三浦 直之
南出 和余
三牧 勉
三輪 恭聖
森浦 隆之
森本 瑞希
文字 文男
八東 浩一
山内 信三
山崎 憲
山崎 太詩
山田 孝彦
山中 秀男
山本 直嗣
山本 遼
矢守 涼子
湯元 芳恵
吉田 由美
米澤 保男
若木 正実

【継続賛助会員】

京王観光株式会社
株式会社甲南保険センター
有限会社サイテックエンタープライズ
清風商事株式会社
日東化成株式会社
パナソニック株式会社

大 阪 青 年



五月號

目次

- ◎社説
- 會員諸君に告ぐ 佐島 主事
- ◎宗教
- 至上の寶 三井 牧師
- ◎講演
- 青年學生へ 宮川 牧師
- ◎學術
- 新らしき時間と空間の觀念 桑田理學士
- ◎會員
- 興國の民たれ U・N・生
- 遠足會 平田 幽水
- ◎海外報
- ◎ローマ字欄
- ◎英文欄
- ◎廣告

No. 1

THE YOUNG MAN OF OSAKA

MAY, 1916

會員諸君に告ぐ

佐島 主事

本會の寄附行爲及特別規則の變更が本年一月十二日に認可となり、去る四月の例會に於て役員を選擧し理事長名出氏及び副理事長清水氏當選す。更に常務理事として清水、小泉、山本の三理事當選せられ、理事會は年四回開かる、のみにして、大概の事は常務理事が常務の執行を監督する事となり、其下に宗教、教育、體育、學生、社會等の各部委員ありて理事を始め各會員中より常務理事の推薦によりて定められ、各其分擔事業につき協議し、之れが遂行擴張をなすに勉むる事となり。今後は大に會員諸君の盡力に待たなければならぬ。元來青年會は一の有機体にして之に屬する會員は皆各種各様の任務を有するもので、自己の利益を得るのみならず進んで他の會員は勿論會員外の社會一般にも奉仕貢獻すべきものである、他人の爲めに奉仕する事にて自己の爲めにならぬものは絶對に無いと信ずる、本會の特別規則第九條に。

會員は基督敎の敎義と儀式とによりて青年の思想を啓發し品格を向上せしめ、神身を強健ならしめんが爲め宗教上及道德上の感化を享有傳播する事を勉むべし。

ごある如く、享有する事と傳播する事とあるが、傳播する事が更に反射的に其享有を確かならしむるものである。次に第十條に。

會員は本會の目的を遂行する爲めに本會の事業を助け會の設備と制度とを運用する事に

努力すべし。

ごあるが、實際青年會の内容と實力とを測量する標準は、幾何に多くの會員が役員、職員と共に協同活動しつゝ、あるやによりて定めらるゝと、米國の青年會の専門家は話して居る。されば我大阪青年會の大に勉めなければならぬ事も矢張此委員制によりて會員諸君と共に協力して本會事業の經營發展盡力すべき事である、故に會員ご意思を疏通すべき機關の必要に迫つて居た、今後毎月一回月報を發行して本會の事業につきて諸君に報知すると共に諸君の趣味ご使命の何邊にあるかをも我等が知る事を得て、此に協同すべき端緒を得る所あるべしと信ずる、尤も月報等にて一ヶ月に一度諸君ご見る事のみにては、到底協力は六ヶ敷事なれども聖書の約翰傳第一章に。

イエス彼等の從へるを回顧て爾曹なにを求るやごは彼等に問こたへてラビ何處に住るやご曰、イエス彼等に來り觀よご曰たまひければ、遂に往て其住り給ふ處を見て其日ごもに往れり。

ごあるが此内に會員が我等職員ご協力する主義ご方針を包含すると信ずる、單に外側より批評的に觀察するのみにては眞に同情ある協力は不可能である。諸君の爲さんとする處、考ふる所を眞に求めらるゝならんには、確に遂行出来る、而して青年會館に來り現狀を觀て如何なる處に欠點特長あるやを觀察して、暫くの間にも協同事を爲す時は、本會に取りて最も肯綮に當るものを敎示出来ると思ふ之我等當事者の希望に堪わざる所である。

運動

春季遠足會

去る四月三日宇治石山方面に催す、午前六時六時六分留所に集合、同勢百五十名午後五時五十分大津驛發車にて歸阪痛快なる遠足會なりき(寫眞及會員欄參照)

ヴォレーボール競技大會

去る四月廿九日中之島運動場に於て大阪体育獎勵會を主催の下に京阪神ヴォレーボール競技大會舉行せられたり。當日朝より天候悪しく午后に至りては全く雨降となり。我青年會選手も十分な技術を發揮する不能は、當日雨天の爲不參の京都軍と交戦を見ざるは返す返すも遺憾に堪じざりき、定刻に達するや大阪有志團對我青年會の試合あり、雨中にも拘らず兩軍共武裝十分整ひ必死の勢にて戦を挑む、兼て我軍は此舉あらんやとて毎週練習意りなく見る、敵を打伏せ十一對四、廿一對十九にて二回我軍の勝に歸す。次に我軍の日頃交戦を切望せる神戸青年會對我青年會との試合に移る、我軍は前回の大捷に乗じて勇ましく戦端を開始す。最初の程は神戸軍優勢我軍一時は危険の状態に迫れり、然るに我軍の防備善しきを得運よく、二十一對二十點にて我軍の勝利に歸す、續いて第二對四ゲームに入るや又さうら敵軍非常に優勢將にゲーム終らんとすや、我軍大いに盛返し終に二十一對十八點にて再び勝利を占む、我大阪軍は連戦連勝一同意氣洋洋々々喜び、我大舞ひ足の踏む處を知らず、此日軍の優勝を稱讃せられ体育獎勵會にては名譽メダル及花籠等を贈らる一同記念寫眞を撮影し凱歌を奏し、中の島運動場を引上げり時に午後五時半なりき

運動

中之島運動場にて開催されたバレーボール大会について記事には、大阪YMCAが神戸YMCAを激戦の末に下すなど優勝して、体育奨励会からメダルと花籠が贈られたとあります。

會員部

二月十四日より三月七日まで新會員の募集



(會員欄及運動部記事參照)

なし、新に二百七十名の會員を得四月末の會員總數次の如し。

Table with 4 columns: 通, 常特, 別維, 持合, 計. Values: 五七四, 一四三, 一〇二, 八一九.

三月廿五日今回新に會員となりたる人々の歓迎を兼ね、全會員を招待し春季演藝會を催す。出席者は約一千名なりき。一月廿六日午後六時四十分分會を開催し、馬場牧師の祈禱、理事長代理山本理事の挨拶、佐島主事の報告あり、茶菓を饗し活動寫眞をなす出席會員六十名。四月廿二日例會を開催し、理事監事の選舉を行ひ、終つて模擬店を開き活動寫眞をなす、來會者一百四十五名なりき。

會員部

春期新たに加わった會員270名の歓迎會として演藝會が行われ、約1,000名が参加した、と記載されています。

社會部

職業紹介部 雇入申込五十三件、求職申込三百五十八人にして、其内受理せるもの二百三十九人、紹介數百就職決定済のもの三十三名なり、尙職業紹介以外に於て學生の就學方針につき相談を受けたもの二件。協働會は例により毎月一回會合を催し、其の目的の遂行に務めつ、あり、目下の會員五十四名なり。

少年義勇團 毎日曜午後主として郊外に於て課程の運動に務めつ、あり、定期會合以外の主なる運動次の如し。一月五日六、甲摩耶雪中登山、三月廿一日早城方面遠足。四月三日、團員有志七名は青年會遠足會の一に行に加はりて需要品の供給に従ふ。三月五日、東京少年俱樂部少年少女大會の依頼により會場整理の任に當る。三月二十五日、市内日曜學校々々長議員の來會を乞ひ團員募集協議會を開く。少年義勇團訓練要は既に第一、二、三巻を發行し目下引續き編輯中。

役員改選 四月廿二日の例會に於て理事監事の選舉を行ひ左の通り何れも再撰せられる。理事 名出保太郎君 宮川 經輝君 監 佐藤 一造君 佐藤 林藏君 幸田繁太郎君 深田直太郎君 松岡 郷之君

海外だより

△クリオブランド青年會 是は同時に五十ヶ處に於て父子席の宴會を開催し互に打交けて懇談し、有名な紳士を聘して講話を乞ひ、各種の遊戯をした處が非常に有益な味多き會合であつた。△天津青年會 是は二週間に七百五十名の新會員を得た、その内には長練練の三令息を始とし有力なる市民も多し、この事、最も有力な數名に既に交流を決心したといふことあり。△上海青年會の理事 是は少年部會館の完成及び青年會館の機體營のため六千圓を寄附し、また支那に於ける他の都市のために七人の体育教師を同會で養成せられたる、同會体育部に行はれて居る種々な競技が今では聖書研究の間に盛に行はれるやうになつて來た、それだけ體育部の事業が興味を以て迎はれるやうになつて來たのである。△ミネアポリスの青年會 是は五十萬弗寄附金募集を思ひ立ち、本年六月開始の寄、デトロイトでは百萬弗、ロンドン、オハイオでは五十萬弗短集の計畫があるさうだ。△シカゴ青年會 工費を費し、千八百の室を有するシカゴ青年會ホテルは、愈々六月一日から開業といふ事になつて、一日一室を六十錢から一日一室を提供することであり、其の廣告が十萬枚の郵便はがきで世界の各地に發せられたといふ事である。

六甲・摩耶山雪中登山

大阪YMCAが日本で初となる組織キャンプを実施する4年前、今で言えばウエルネス冬期キャンプが雪中登山という形で行われていたようです。

4月25日

再選された理事には、宮川經輝初代会長のお名前も見られます。

海外だより

クリーブランド、天津、上海、ミネアポリス、シカゴ等のYMCAの活動の様子が伝えられ、当時から海外のYMCAとの交流、情報交換が活発であったことが伺えます。



音樂部開始

音樂科 單音復音唱歌、コーラル、ブレンゲン合唱曲。講師 杉江秀氏専ら其任ニ當ル。時間 當ル毎水曜日午後五時半ヨリ六時半迄トス尚六時半ヨリ七時迄讚美歌練習ヲナス。入部希望ノ諸君ハ此際至急申込込マレナシ。大阪青年會 音樂部

△また同地の青年會 是は宗教上の事情に關し、ヶ月に千六百六十人の人々に會員懇談し内五百九十九人の青年に教會に紹介せられた。△昨秋神戸青年會 是は宗教上の事情に關し、ヶ月に千六百六十人の人々に會員懇談し内五百九十九人の青年に教會に紹介せられた。△エフ、ウエーランド、エイアー氏はキャンプ。△カローチス印刷會社 是は今度六七萬弗の損害を以てはす標榜の廣告を謝絶した。△ブルックリン中央青年會 是は目下五千三百八十人の會員を有す、同會の少年部は米國最大のもので目下千九百九十九人の會員がある、宗教部の諸集會には一月一萬五千六百八十五名の出席があり、人事の相談を受けたものが百四十四名、同會に入らせし總人員は實に一ヶ月六萬六千七百七十八名だそうなり。△又同會の外國傳道部 是はメキシコ市の四千七百七十名を募集した。また去月職業を與へられたものは二百二名で彼等の受ける俸給は一週五弗から三十五弗位である。△プロビデンス州の青年會 是は七日間の會員募集で二千六百人の新會員を得たことである。